

## 名古屋大学博物館野外観察園展示室の展示記録 2012年10月から2013年10月まで

Record of the exhibition at the Nagoya University Museum  
Botanical Garden from October, 2012 to October, 2013

吉野奈津子 (YOSHINO Natsuko)

名古屋大学全学技術センター  
The Nagoya University Technical Center, Chikusa-ku, Nagoya 464-8601, Japan

名古屋大学博物館野外観察園展示室で2012年10月から2013年10月までに名古屋大学博物館のサテライト展示を6つ行った。本報告はその記録である。展示の企画、展示者との調整は野崎ますみ（名古屋大学博物館）が行い、会期中の管理は吉野が行った。展示物に関しては展示者が作成を行っている。

### (1) サイエンスイラストレーション・サマースクール in あいち 受講者作品展

- 主催：名古屋大学博物館，名古屋大学グリーン自然科学国際教育研究プログラム，GCOE「機能分子科学への神経疾患・腫瘍の融合」，高等教育研究センター，産学官連携推進本部あいちサイエンスフェスティバル事務局
- 共催：名古屋造形大学，名古屋大学物質科学国際研究センター，博物館
- 協力：ジョーンズ・ホプキンス大学医学部医療アート専攻，トロント大学バイオメディカル・コミュニケーションズ専攻，名古屋大学研究推進室，リサーチアドミニストレーション室，東北大学大学院医学系研究科
- 後援：在名古屋米国領事館，名古屋アメリカン・センター



図1，チラシ



図2，展示室の様子

会 期：2012年10月9日（火）～10月26日（金）

入園者数：211人

担 当：藤吉 隆雄（名古屋大学 産学官連携推進本部），野崎 ますみ（名古屋大学博物館）

### ごあいさつ

昨年に続き、日本ではなじみが薄いサイエンスイラストレーションの入門コースが名古屋大学で行われました。米国ジョンズ・ホプキンス大学医学部 医療アート専攻（修士課程）から講師を迎え、ハンドワークとPCワークの両方を使った、サイエンスイラストレーションの基礎課題に挑戦。その実践成果を展示します。

### （2）蟲魚圖譜展

主 催：名古屋大学博物館

会 期：2012年11月5日（月）～2013年3月8日（金）

入園者数：1,110人

担 当：門脇 誠二（名古屋大学博物館），野崎 ますみ（名古屋大学博物館）

#### 展示作品（25点）

ギフチョウ、	ナミアゲハ、	ヒメジャノメ、
モンキチョウ、	クロアゲハ、	キアゲハ、
カラスアゲハ、	オオカワトンボ（♂）、	オオカワトンボ（♀）、
チョウトンボ（♂）、	チョウトンボ（♀）、	ハッチョウトンボ（♂）、
ハッチョウトンボ（♀）、	コサナエ属の一種（♂）、	トラフトンボ（♀）、
オオヤマトンボ（♂）、	ヤマサナエ（♀）、	ホウボウ、
アンコウ、	イトヨリダイ、	クルマダイ、
アヤマカサゴ、	モミジガイ、	「カタツムリ」、
「テハタキエビ」と「ノシメエビ」		



図3，チラシ



図4，展示室の様子

### (3) 空・雲・光 三矢保永写真展

主 催：名古屋大学博物館  
会 期：2013年4月5日（木）～8月31日（金）  
入園者数：1,014人  
担 当：野崎 ますみ

#### 撮影者プロフィール

本職のかたわら、山登りを趣味とし、ついでながら、山の写真を撮っている。

空の光と雲、山の彩りが、主な撮影対象。山歴は長いですが、写真歴は最近の十年あまり。古稀に近づいて、山ジイジイといわれても素直に受け入れられる。膝・足腰に問題点を抱えながらも、日々の訓練は続けているのだが…

光と雲の織りなす光学現象や、不思議な自然現象の写真によって、美しい自然を守る大切さを汲み取っていただければ幸いです。

本職は、ナノトライボロジー（ナノ領域で相対運動する二面間の科学と技術）の研究。大学を定年退職後も、研究を継続するとともに、科学の啓発活動にも従事。

#### 展示作品（観察園 30点）

奥美濃のシャングリラ、薫風の白き尾根、環水平アーク（Ⅰ、Ⅱ）、滝雲に光射す、折り重なる山並み、大台ヶ原の上に現れたハロ（日暈）、北アルプスに夏山到来（Ⅰ、Ⅱ）、巨大入道雲の北進、日本海の夕日の反射、かぎろい、地球影、大日岳に現れたブロッケン、稲妻に輝く夜の入道雲、多層の波雲、夕焼けの光芒、紅葉に染まる屏風岩、滝谷から湧き揚がるガスと夕陽、孤峰槍ヶ岳、新設の御岳遠望、初冠雪の剣岳、雲の変貌Ⅰ（その1、その2、その3）、雲の変貌Ⅱ（その1、その2、その3、その4、その5）

#### 展示作品（博物館 3点）

空翔ける竜雲、

雲と山のあいだ、

北アルプス 夏の夕暮れ

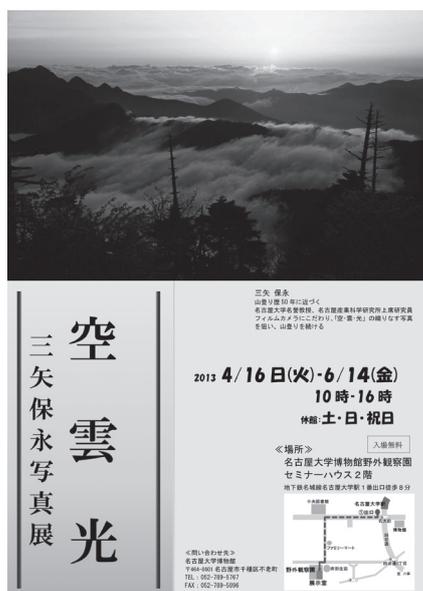


図5, チラシ



図6, 展示室の様子

(4) 野外観察園 初夏の植物

主催：名古屋大学博物館  
 会期：2013年7月1日(月)～7月31日(水)  
 入園者数：290人  
 担当：吉野 奈津子

展示作品 (30点)

エンジュ,	エフクレタヌキモ,	シコウラン,
オオガハス,	ツユクサ,	ホルトノキ,
サンゴジュ,	ウツボカズラ,	オオケタデ,
オオバボダイジュ,	ジュズサンゴ,	ハンゲショウ,
ヒシバダイコ,	ウマノスズクサ,	ハマオモト,
キフゲツトウ,	ホップ,	シュウカイドウ,
ナツメ,	ナツズイセン,	ネムノキ,
イヌビワ,	サクララン,	アガパンサス,
テンジクスゲ,	タカサゴユリ,	クロイトトンボ,
ハッチョウトンボ (♂, ♀),	オオシオカラトンボ,	



名古屋大学植物野外観察園の初夏各紹介。展示します  
 当園には約 100 種の花があり、研究や自然観察を行っています  
 また、自由に散策できる場所もあります

会期 2013 7/1(月) - 7/31(水)  
 10時 - 16時

休館 土・日・祝日

＜会場＞  
 名古屋大学博物館野外観察園  
 名古屋大学サウスゲート  
 名古屋大学サウスゲートから徒歩約 5 分  
 名古屋大学サウスゲート

入場無料

お問い合わせ  
 名古屋大学博物館  
 〒464-8601 名古屋市中区千種区不老町  
 電話 052-789-3787  
 Fax 052-789-3496  
 http://www.museum.nagoya-u.ac.jp

野外観察園  
初夏の植物

図7, チラシ



図8, 展示室の様子

(5) ムラージュ キノコの写真展

主催：名古屋大学博物館  
 会期：2013年8月6日(火)～10月19日(土)  
 入園者数：989人  
 担当：野崎 ますみ

## 展示作品（42点）

シロキクラゲ、	キツネノエフデ、	ズキンタケ、
コムラサキシメジ、	シワナシオキナタケ、	ヒメツチグリ、
コウボウフデ、	カエントケ、	キイボカサタケ、
ツノマタタケ、	アケボノオシロイタケ、	ケロウジ、
チシオタケ、	オオムラサキアンズタケ、	ハナビラタケ、
クロラッパタケ、	コウモリタケ、	ムラサキカスリタケ、
アラゲコベニチャワンタケ、	スギヒラタケ、	キヌガサタケ、
タマシロオニタケ、	オオワライタケ、	オオヒラタケ、
シロマツタケモドキ、	ベニヒガサ、	オオツガタケ、
ハナオチバタケ、	ミカワクロアミアシイグチ、	キツネノチャブクロ、
ツチイチジクタケ、	コキララタケ、	オリーブサカズキタケ、
ガンタケ、	ウスヒラタケ、	ハナオチバタケ、
コンイロイッポンシメジ、	タマゴタケ、	チャタマゴタケ、
フカミドリガサ、	ウスキキヌガサタケ、	アミガサタケ



野外観察園セミナーハウス2階

「キノコの写真展開」催中

10:00～16:00 開館

土、日、祝日 閉館



図9, チラシ



図10, 展示室の様子

### （6）学生によるミニ展示 「生物のかたちとおもしろさ」

主催：名古屋大学博物館

会期：2013年9月30日（月）～10月19日（土）

入園者数：ムラージュ キノコの写真展と同時開催のため、入園者数はムラージュ キノコの写真展に含まれる。

担当：西田 佐知子, 藤原 慎一, NUMAP（名古屋大学ミュージアム活性化プロジェクト）

### ごあいさつ

野外観察園でみられる植物や虫たちを素材として、名古屋大学の学生たちが展示制作に挑戦しました。

宇宙，文学，機械・・・博物館に集まったかれらの専門はさまざまです。そんな学生たちは一体どのような切り口から課題に取り組んだのか！？

ぜひ皆さんの目でお確かめください。



図1 1，展示作品



図1 2，展示作品

(2013年10月15日受付)